

継続補助申請は、こちらの様式を使用してください

記入例

結婚新生活支援補助金交付申請書兼実績報告書

・夫婦のうち、昨年度交付決定を受けた方を記載して下さい。

令和6年11月15日

(宛先) 焼津市長

書類提出日を記載

昨年度に交付された「結婚新生活支援補助金交付決定通知書兼交付確定通知書」の文書番号を記入して下さい。

住所 焼津市*****
氏名 (自署) 焼津 太郎
(夫又は妻のいずれか)

電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

令和5年〇月〇日焼〇-〇号により、補助金の交付決定を受けた焼津市結婚新生活支援補助金について、次のとおり関係書類を添えて継続補助申請し、及び実績を報告します。

費用内訳	住居費 (賃料・共益費) ・令和6年4月以降に支払った金額が対象経費になります。	契約締結年月日	令和5年9月1日
		賃料	裏面③より 450,000 円
		共益費	裏面⑥より 18,000 円
		小計(A)	468,000 円
	リフォーム費用	契約締結年月日	年 月 日
		契約額	円
		領収書記載額(B)	円
	合計(D) (A)又は(B)+(C)の額	契約締結年月日	年 月 日
		契約額	円
		領収書記載額(C)	円
住宅・引越し手当(E)	月額 10,000 円 × 6 箇月 = 60,000 円		
	付与率: 100円決済につき = 1ポイント 還元率: 1ポイント = 1円相当 合計: 4,680ポイント付与 = 4,680円相当		
	円相当		
前回交付決定額(H)	245,000 円		
今回補助上限額(I) (60万円又は30万円-(H))	55,000円 (婚姻時において、夫婦がともに29歳以下である場合には、355,000円)		
今回補助申請額(J) (D)-(E)-(F)-(G)又は(I)のいずれか低い方)	55,000円 (婚姻時において、夫婦がともに29歳以下である場合には、355,000円) 円		

(注)「補助申請額」に1,000円未満の端数があるときは、切り捨ててください。

賃料	<p>① 賃料 月額 <u>75,000</u> 円 × 支払済賃料 <u>6</u> 箇月 (令和6年5月～令和6年10月)※ = <u>450,000</u> 円</p> <p>② ^(変更後)賃料 月額 _____ 円 × 支払済賃料 _____ 箇月 (_____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月) = _____ 円</p> <p>計 ①+② = <u>450,000</u> 円……③</p>	<p>対象経費としている期間内で、賃料に変更があった場合のみ記入</p>
共益費	<p>④ 共益費 月額 <u>3,000</u> 円 × 支払済共益費 <u>6</u> 箇月 (令和6年5月～令和6年10月)※ = <u>18,000</u> 円</p> <p>⑤ ^(変更後)共益費 月額 _____ 円 × 支払済共益費 _____ 箇月 (_____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月) = _____ 円</p> <p>計 ④+⑤ = <u>18,000</u> 円……⑥</p>	<p>対象経費としている期間内で、共益費に変更があった場合のみ記入</p>

(注)賃料・共益費の金額に途中で変更があった場合は、②、⑤に変更後の賃料・共益費を記載してください。

※重要

対象経費（賃料・共益費）を10月分までとする場合は、第2号様式の2「証明期間」の終期が令和6年10月まで証明されている必要があります。（住宅手当が支給されている場合には、第2号様式の3「住宅手当等支給状況」の支給対象月の終期も10月分賃料まで証明されている必要があります。）

